

小林市総合計画等審議会 答申書

令和6年8月16日

小林市長 宮原 義久 様

小林市総合計画等審議会
会長 吉丸 政志

第2次小林市総合計画後期基本計画及び第2期てなんど小林総合戦略の評価及び推進について（答申）

当審議会では、令和6年7月24日付け企第270号で諮問を受けた標記について、小林市まちづくり基本条例における「行政評価」に関する規定（第13条第2項）に基づき、慎重に審議いたしました。

上記の結果、貴市の評価に対し、審議会の意見を別紙のとおり取りまとめましたので答申いたします。

今回の評価結果が、各計画の推進に着実に反映されますよう、強く要望いたします。

記

（経過）

- ・ 7月24日 第2回小林市総合計画等審議会（諮問、審議）
- ・ 8月6日 第3回小林市総合計画等審議会（評価）

にぎわい分野**１－（１）農林水産業を振興します**

- ・ 森林環境の保全について、市内の施設も活用しながら、子ども達への森林環境教育を推進してほしい。
- ・ 地産地消活動の推進について、地元食材を利用した料理教室等を児童・生徒向けに開催しているが、インフルエンサーによるSNSでの発信も期待できるので、一般向けにも開催してほしい。
- ・ ローカルフードビジネスの取組について、事業者が取り組みやすいよう、品質等の基準の見直しを行いながら、ブランディングを推進してほしい。
- ・ 養殖業者への持続化支援について、市内にはコイ、マスの飲食店もあるので、PRを強化してほしい。

１－（２）畜産業を振興します

- ・ 畜産物の消費拡大について、市内、県内の規模では限界があるので、全国規模で広がるよう、取組を強化してほしい。
- ・ 畜産クラスター事業について、県独自のトラクターの特認基準が定められており、規模拡大に取り組みづらい現状であるため、市からも特認基準の見直しを県に要望してほしい。
- ・ 肉用牛のゲノミック評価について、子牛の価格上昇や飼養頭数の増加を図り、小林市を強い生産地にするためにも、関係機関と連携しながら、本格的に取り組んでいただきたい。
- ・ 竹で家畜の飼料や敷きわらの代用品を製造することもできるので、畜産業の振興のためにも、放置竹林の整備に対する支援を強化してほしい。
- ・ 畜産業の振興について、ウクライナ情勢や円安が一番の課題なので、その解決に向けて国に要望してほしい。
- ・ 小林市では酪農のみでは生計を維持できないので、生乳だけでなく、加工品に対する支援も強化してほしい。

１－（３）商工業を振興します

- ・ 小林ビジネス支援センターによる支援が実際に起業や事業継続につながっている現状があるので、今後も事業を継続してほしい。

１－（４）観光産業を振興します

- ・ 観光産業の振興について、和食や農家体験など、インバウンドに

対応するためのコンテンツを西諸地域は持っているので、2市1町で観光地域づくりに取り組んでほしい。

- ・ 体験型の観光地づくりについて、観光客の移動支援や人的支援など、受入農家・受入家庭の高齢化という実情に応じた支援策を講じてほしい。
- ・ スポーツ団体の合宿受入れについて、宿泊施設が不足しているので、立地助成も含めて、宿泊施設の立地を推進してほしい。
- ・ 県道1号線について、利便性が高く、観光入込客数の増加にも直結する路線であるが、平日の通行が制限されているので、火山ガス対策を講じた上で平日も通行できるよう県に要望してほしい。

1－（5）戦略的なプロモーションを推進します

- ・ U I J ターンの促進について、Uターン者は小林市で生活した経験があり、定着率が非常に高いため、関係機関と連携しながら、就業支援や初期費用への支援に取り組んでいただきたい。

いきいき分野

2－（１）市民福祉の充実を図ります

- ・ ボランティア団体等が安心して活動できるよう、支援及び配慮をお願いしたい。
- ・ 障がい者（児）の相談支援件数が増加している状況を踏まえ、支援が充実するよう、人員確保を含めた体制強化について検討いただきたい。
- ・ 生活困窮者の支援について、引き続き潜在的な支援対象者の把握に努め、各種支援の充実を図ってほしい。

2－（２）高齢者を支援します

- ・ 要介護者が適切な介護を受けられるよう、介護認定に係る申請から認定までの迅速な対応に努められたい。
- ・ 各種サポーターも高齢化が進んでいるため、若年層のサポーターの育成や人材確保に向けた取組を推進する必要がある。
- ・ 高齢者が活躍する社会づくりの推進について、高齢者が元気なうちから自立して活動できるよう、更なる支援制度の充実、周知を図る必要がある。
- ・ 今後も介護施設と連携し、市民に寄り添った介護サービスをお願いしたい。
- ・ 地域で高齢者を支えることが非常に重要であるので、今後も継続した支援や仕組みの検討が必要である。

2－（３）健康づくりを支援します

- ・ 各種健（検）診について、受診率の向上を図るには、対象者への通知内容及びイベント等でのＰＲを含めた周知方法の見直しが必要である。
- ・ 健幸ポイント事業について、情報が届いてない方や無関心層にアプローチできるよう、継続的な周知・啓発に努められたい。

2－（４）子ども・子育てを支援します

- ・ 少子化対策の推進について、市民が安心して子どもを産み育てられるよう、制度の見直しやサポート体制の拡充・周知を図る必要がある。
- ・ 病後児保育事業について、需要が増えている状況を踏まえ、事業の拡充に努められたい。

- ・ ひとり親家庭に対する自立支援や子どもの貧困問題への対応として、フードパントリー等の取組強化を図ってほしい。

２－（５）地域医療の体制の確保に取り組めます

- ・ 市立病院の常勤医師が増え、救急医療及び災害医療をはじめ、病院サービスの充実が図られている面もあるが、内科医師の確保など、引き続きサービス向上に向けて市民に寄り添った取組を行ってほしい。
- ・ 西諸３公立病院による地域医療連携推進法人設立においては、リーダーシップを発揮し、地域医療の強化に努めてほしい。

まなび分野

3－（１）学校教育を充実します

- ・ こころの教育の推進と充実について、不登校率が増えている現状があることから、関係機関や団体と連携し、複雑化・複合化している児童生徒の悩みや問題について、きめ細かな対応が必要である。
- ・ 学校施設においては老朽化が進んでいる。児童生徒が安心・安全に学校生活が送れるよう、学校施設の早急な整備を強力に推進してほしい。

3－（２）生涯学習を推進し、文化・芸術を振興します

- ・ 生涯学習について、生涯学習講座の充実が図られ参加者も増えている。一方で、青年層等の参加が低迷しているため、すべての市民に寄与できる講座の検討・周知が必要である。
- ・ 郷土芸能等の伝統文化継承について、団体活動の維持や新たな団体の発足につながるよう支援の充実を図ってほしい。
- ・ 社会教育団体の活動が維持・拡充されるよう、財源確保に努められたい。

3－（３）スポーツ・体づくりを推進します

- ・ 子どものスポーツの機会に差が生じないよう、学校や地域の垣根を越えた中学校部活動の拠点校制度等の充実に引き続き取り組んでほしい。
- ・ 令和9年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会やこばやし霧島連山絶景マラソン大会などの全国規模のスポーツイベントについて、宿泊場所やボランティア人員の確保等含め、市民総ぐるみの取組となるよう、関係機関と連携を図り、イベントの充実を図ってほしい。
- ・ 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた環境の整備については、大会後も市民に広く利活用される施設等となるよう、今後を見据え取り組む必要がある。また、スポーツ環境の充実が図られることから、各種スポーツ活動についての機運醸成が図られるよう努めてほしい。

くらし分野

4－（１）防災力・災害対応力を高めます

- ・ 区・組加入率の低下が防災力の低下にもつながるので、加入対策に加え、きずな協働体とも連携するなど、自主防災組織の機能充実を図っていただきたい。
- ・ 消防団員の確保について、消防協力会補助金の見直しや消防団活動の啓発など、あらゆる対策を講じてほしい。
- ・ 防災情報の発信について、市民に関心を持ってもらえるように、暮らしに紐づいた情報を発信してほしい。

4－（２）安心・安全で安定した給水を確保します

- ・ 他の自治体で有害性が指摘される種類の有機フッ素化合物「P F A S」が検出された事例もあるので、今後とも安心・安全な水道水の確保に努めていただきたい。
- ・ 安定した給水を確保するため、水源地の周辺も含めた環境整備に取り組んでいただきたい。
- ・ 全国各地の災害で水道管の老朽化により大きな被害が生じているので、計画的に更新を進めていただきたい。

4－（３）良好な住環境の整備を推進します

- ・ 空家の情報について、移住促進の観点からも、市役所内で集約した情報の発信を検討してほしい。
- ・ 高齢者の孤立防止の観点からも、市営住宅のバリアフリー化を推進してほしい。

4－（４）生活基盤を整備します

- ・ 公園の整備について、遊具等はなくともよいので、子ども達が気軽に遊ぶことができる芝生広場を整備してほしい。
- ・ 令和9年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けて、アクセス道路の整備が必要になると思われるので、将来の市民のためにも計画的に整備を進めてほしい。

4－（５）自然環境・生活環境を保全します

- ・ 竹でペレット燃料を製造することもできるので、脱炭素社会づくりの推進のため、ペレットストーブの設置を促進してほしい。
- ・ 現在もさわやか収集を実施しているが、生活困窮者の中にはごみ

の分別が困難で、家庭内にごみがたまってしまう状況も見受けられるので、生活困窮者支援の観点からも、一時的ではなく、継続的にごみ分別を支援してほしい。

4－（６）地域生活交通の確保を図ります

- ・ デマンド型交通への転換可能性の検証について、乗車前の予約手続など、市民の理解や協力が必要な面もあるので、利用が促進されるよう、運行エリアの住民に対して周知を行ってほしい。また、利用が促進されると思われるので、乗り合わせの調整役が確保できないか検討してほしい。

4－（７）市民の人権意識を高めます

- ・ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律において、行政だけでなく、事業者に対しても、障がい者への必要かつ合理的な配慮が求められているので、広報紙等で周知啓発を行ってほしい。

4－（８）国際化・多文化共生を推進します

- ・ 外国人市民への支援について、市内には700人を超える外国人が居住しているので、地域日本語教室など、今後とも継続して取り組んでほしい。

計画の実現に向けて

５－（１）効率的かつ効果的な行政経営を行います

- ・ 中山間地域（特に高齢者が多い地域）の、地域交通機関の運行地域外に居住する外出困難者に向けた外出支援サービス等の充実を図ってほしい。
- ・ 公金を扱う立場として、引き続き職員への研修等を実施し、法令や各種制度等についての知識向上・共通認識が図れるよう努められたい。
- ・ 市税収納率の更なる向上につながるよう、引き続き納付機会の拡充等の取組を推進してほしい。
- ・ ふるさと納税をめぐる制度運用については、市のイメージにも大きく関わるものであるため、引き続き適切な制度運用に努められたい。また、貴重な自主財源であり、市の財政面に与える影響が非常に大きいので、引き続き事業を推進してほしい。

５－（２）市民参画による協働のまちづくりを推進します

- ・ 自治会加入について、共に支え合う地域共生社会の推進を図るため、自治会の取組やメリット等の分かりやすい情報発信に努めるとともに、小林市ならではの豊かな自然環境や人柄の良さもアピールしながら、加入率向上に努められたい。
- ・ 若者の投票率向上に向けて、出前講座やチラシ配布など啓発活動の充実を図るほか、主権者教育の一環として、投票権のある高校生の立会人等への登用を推進してほしい。

５－（３）デジタル化を推進します

- ・ 公衆無線LANを整備することで、若い人をはじめ多くの人が集まるスポットとなっている。引き続き環境の整備・推進に努め、まちづくりという観点での取組にもつなげてほしい。

５－（４）公共施設等のマネジメントを推進します

- ・ 市民へ開放している公共施設については、統廃合予定の施設も含め、利用者の安心・安全を第一に考えた管理に努められたい。
- ・ 各種公共施設の統廃合については、地域の活動や人口減少等を踏まえ、複合施設化等も視野に入れた協議を進めてほしい。また、施設整備に必要な財源の確保にも努められたい。

第２期てなんど小林総合戦略

（１）第２期てなんど小林総合戦略の評価

- ・ 意見なし

（２）地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）効果検証

- ・ 第２期てなんど小林総合戦略のＫＰＩ達成に「有効であった」。

※ 外部有識者からの評価は、てなんど小林総合戦略のＫＰＩ達成に「有効であった」か「有効であったとは言えない」から選択。